

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：福島県浪江町

協定締結日：2019/1/31

活動状況：継続中

連携先窓口：福島県 浪江町 農業課

活動資金：補助金

担当教員（所属）：山本祐司（総研）、黒瀧秀久（自然資源経営学科）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：高畑健（農学部）、入江彰昭（地域環境科学部）、井形雅代（国際食料情報学部）、菅原優・小川繁幸（生物産業学部）

活動目的：

浪江町の農業復興のボトルネックとなっている“ソフト面”を支援するため、東京農業大学の“復興知”を結集し、①就農拡大への取組、②6次産業化推進の取組、③スマート農業推進の取組に資する各種事業を通じて、学生を中心とした現地での活動を展開させ、(株)舞台ファームとも連携しながら「産官学一体」となって農業再生のソリューションの提案を実施する。

大学等の復興知を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業「福島県浪江町における農業“新興”に向けた取り組み」

活動内容・成果：

1. 現地（藤橋地区）でペピーノ、ジャカラランダの定植作業を実施
・実施時期：2019年6月8日・9日、参加人数：計11名（農大教員1名、農大学生4名、地元農業者4名、浪江町役場職員2名）
2. 浪江町役場本庁舎で第4回実行委員会および地元行政と農業者との意見交換会を開催
・実施時期：2019年7月30日、参加人数：計17名（農大教員5名、地元農業者6名、浪江町役場職員6名）
3. 現地（藤橋地区）でペピーノの管理作業を実施
・実施時期：2019年8月5日、参加人数：計4名（農大学生2名、地元農業者1名、浪江町役場職員1名）
4. 現地（石井圃場）でエゴマの定植作業を実施
・実施時期：2019年8月10日・11日、参加人数：計7名（農大教員1名、農

大学生 4 名、地元農業者 2 名、浪江町役場 1 名)

5. 浪江町役場および訪問先農家において、農業の担い手育成に関するヒアリング調査を実施

・実施時期：2019 年 8 月 26 日～30 日、参加人数：計 3 名（農大教員 1 名、農大学生 1 名、浪江町役場 1 名）

6. 現地（石井圃場）でエゴマの摘心作業を実施

・実施時期：2019 年 9 月 13 日、参加人数：計 13 名（農大教員 1 名、農大学生 4 名、地元農業者 6 名、浪江町役場 2 名）

7. 本学と連携する(株)マイファーム・アグリイノベーション大学校の受講生による現地研修（役場、トルコギキョウ農家、(株)舞台ファーム圃場等）を実施

・実施時期：2019 年 9 月 21 日、参加人数：計 11 名（農大教員 1 名、地元農業者 3 名、浪江町役場 2 名、アグリイノベーション大学校受講生 5 名）

8. 現地での農業セミナーとエゴマの管理作業を実施

・実施時期：2019 年 9 月 22 日・23 日、参加人数：計 11 名（農大教員 3 名、農大学生 3 名、地元農業者 3 名、浪江町役場 2 名）

9. 現地の花卉栽培農家での管理作業を実施

・実施時期：2019 年 9 月 27 日・28 日、参加人数：計 6 名（農大教員 1 名、農大学生 3 名、地元農業者 2 名）

10. 現地のエゴマ栽培農家での管理作業の実施

・実施時期：2019 年 10 月 26 日・27 日、参加人数：計 9 名（農大教員 1 名、農大学生 5 名、地元農業者 3 名）

11. ふくしまプライドと連携した現地のエゴマ収穫作業、ワークショップを実施

・実施時期：2019 年 11 月 16 日・17 日、参加人数：計 37 名（農大教員 2 名、農大学生 28 名、地元農業者 5 名、浪江町役場 2 名）

12. 現地の花卉栽培農家での管理作業の実施

・実施時期：2019 年 11 月 23 日・24 日、参加人数：計 8 名（農大教員 1 名、農大学生 5 名、地元農業者 2 名）

13. 現地でのシンポジウム「浪江町の農業“新興”への挑戦」および農業セミナー（ドローン講習会）の開催

・実施時期：2019 年 12 月 14 日・15 日、参加人数：計 60 名（農大教員 6 名、農大学生 39 名、地元農業者 10 名、浪江町役場 2 名、外部講師等 3 名）

14. シンポジウム「福島県沿岸地域の農業再生と広域連携の課題」の開催

・実施時期：2020年1月25日、参加人数：計45名（農大教員7名、農大学生12名、地元農業者3名、浪江町役場3名、その他関係者20名）

<成果>

・浪江町での各種プロジェクトを通じた学生による農業支援活動による成果として、ペピーノ、エゴマ、花卉といった品目別の農業支援活動や農業の担い手育成に向けたヒアリング調査など、延べ205名の学生が現地で活動を行うことにより、課題解決の方向性が明らかになった。

・ペピーノをはじめとする新規作物の試験栽培の本格化と加工品開発に向けた提案として、ペピーノの試験栽培と共に学生のアイデアによる調理品・加工品の試食会を行い、新たな特産品としての可能性を高めることができ、浪江町に建設予定の「道の駅」（2020年7月開業予定）のお土産開発としても展開する。

・浪江町における営農再開における進展と六次産業化の推進に向けた成果として、シンポジウム等により町民・農業者からニーズの高い集落営農組織や法人化に関する情報提供と、地域活性化に向けて「六次産業化テキスト」を作成するなど、農業“新興”に向け着実に成果を還元することができた。

課題・改善点：

・課題としては、天候不良による生育の遅れや台風などにより現地での農業支援活動のスケジュールが遅れたこともあり、現地への訪問回数は当初計画より少なくなってしまうことがあげられる。

また、補助事業は2020年度で終了するため、事業終了後の継続的な実施に向けた仕組みを構築することが必要となる。

・改善点としては、学生の参加をより促すための工夫として、次年度は「復興浪江学」といった学習会を定期的に企画して、現地の活動報告や情報収集を活発化したい。

※主要な活動状況の写真は別紙を参照のこと

大学等の復興知を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業 2019

福島浪江町における農業“新興”に向けた取り組み ～担い手育成に向けて～



 **東京農業大学**
TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE

2019年度事業の概要

●取り組みの概要：

浪江町の農業復興のボトルネックとなっている“ソフト面”を支援するため、東京農業大学の“復興知”を集集し、①就農拡大への取り組み、②6次産業化推進の取り組み、③スマート農業推進の取り組みを展開し、“復興”から一歩進んだ農業の“新興”を目指す。本年度は学生による現地での活動を本格化させたい。

2019年度の活動内容

① 就農拡大への取り組み

- ・学生による農業体験実習（6月～）
- ・浪江町の担い手育成に関するヒアリング調査（8-9月）
- ・社会人（株マイファーム）の新規就農支援活動（9月）
- ・株舞台ファームによる営農体験（10月）
- ・浪江町の農業復興計画への提言等（12月、1月）
（シンポジウムの開催；浪江町・東京都内）

② 6次産業化推進への取り組み

- ・新規作物等（ペピーノ、小麦）の提案・営農指導（5月～）
- ・地元産品の6次化支援プログラム（5月～）
（エコマ、トルギキョウの商品化、ペピーノ加工試作）
- ・景観作物（桜、ジャランダ）の検討・検証（5月～）
- ・6次産業化支援テキストの作成（12月）
- ・農業セミナーの開催（12月）

③ スマート農業推進の取り組み

- ・ドローンによるスマート農業支援
（株舞台ファームによる圃場面積の拡大）



取り組みによって 得られる成果

- ①学生による現地活動の実施（信頼関係の構築）
- ②新規就農ビジネスモデルの構築
- ③帰還農業者・新規就農者の増加
- ④新作物・新商品開発による6次産業化
- ⑤スマート農業のいっそうの推進

ペピーノの栽培、六次産業化支援プロジェクト

・6月8日（土），9日（日）定植作業

・8月5日（月）除草作業



高畑先生、学生たち、浪江町の皆さま



浪江町の皆さまとペピーノ加工品の試食会



小麦支援プロジェクト

• 9月22日（日）



西尾先生による小麦栽培のレクチャー



高畑先生によるペピーノの経過報告



小麦の播種機

エゴマ栽培支援プロジェクト

• 8月10日（土）定植作業



石井絹江さんの
圃場



入江先生、学生たち、浪江町の皆さま

• 9月23日（月）除草作業

（稲刈りが雨で中止）



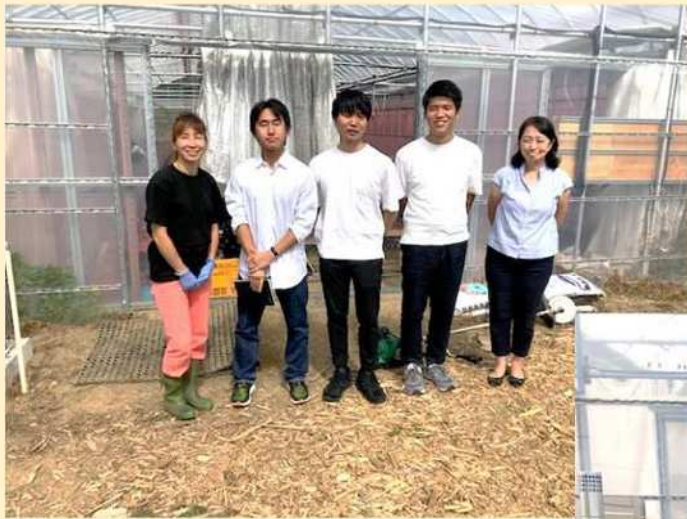
石井絹江さん
の圃場



黒瀧先生、高畑先生、学生たち、浪江町の皆さま

花卉(トルコギキョウ)栽培農家支援プロジェクト

• 9月27日(土)、28日(日)



井形先生、学生たち、
浪江町の花卉生産者



新規参入生産者(和泉氏)
の民泊「青田荘」に泊まり交流

担い手育成ヒアリング調査

• 8月27日（火）～30日（金）

稲作農家に訪問してヒアリング調査
(菅原先生、学生)



「ふくしまプライド。」と連携したエゴマ収穫、ワークショップ

• 11月16日（土）・17日（日）



エゴマ収穫・脱穀を指導する
石井絹江さんと和泉亘さん

エゴマ収穫（中上）
エゴマ脱穀（中下）



「浪江町での
就農モデル」
をテーマに
ワークショップ



シンポジウム「浪江町の農業“新興”への挑戦」

・12月14日（土）・15日（日）

商品開発セミナーとワークショップ、ドローン講習会

学生と教員による活動報告



シンポジウム「福島県沿岸地域の農業再生と 広域連携の課題」

• 1月25日（土）



基調講演の講師
田代洋一氏

浪江町の農業・
佐々木茂夫氏



パネリスト
の講師陣
(福島大、東京農
工大、農大)

